

平成28年の救急出場件数等について

1 救急出場件数及び搬送人員

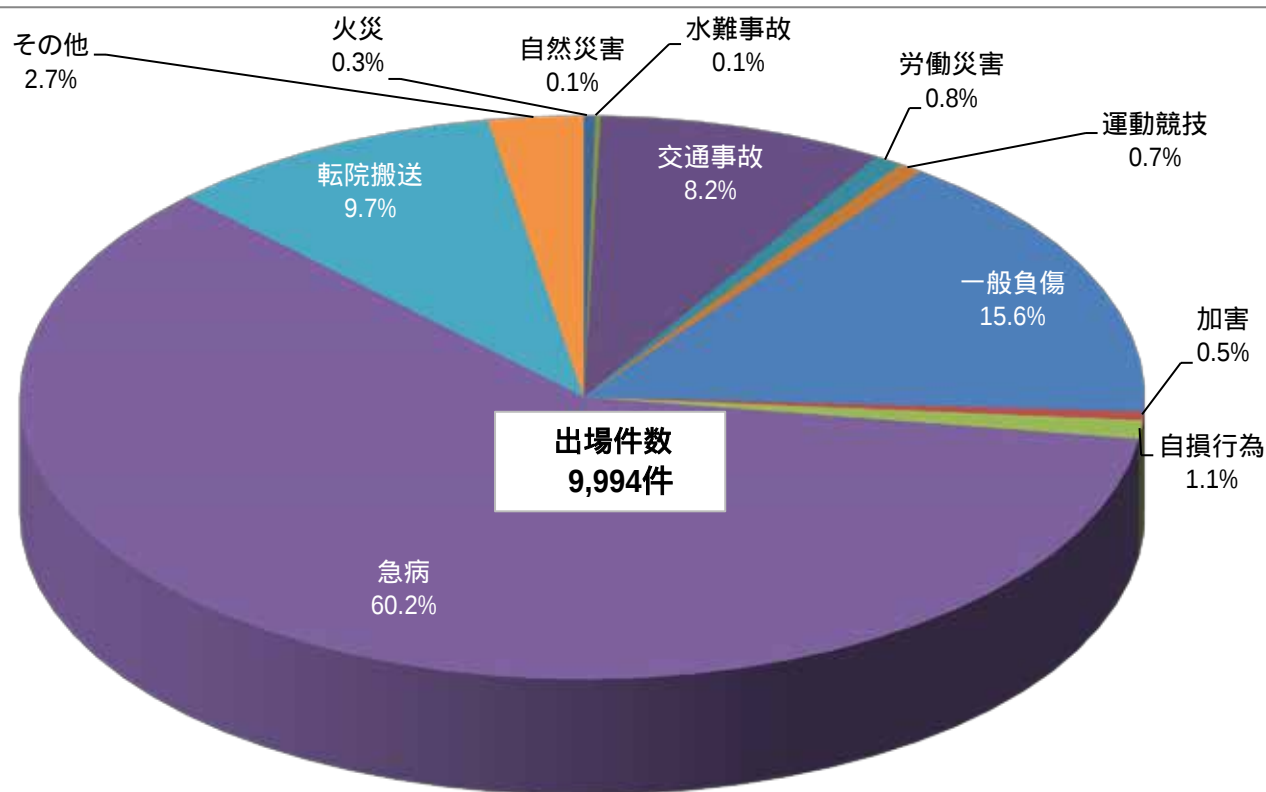
期間	出場件数			搬送人員		
	合計	宇部市	山陽小野田市	合計	宇部市	山陽小野田市
平成27年	9,970件	6,947件	3,023件	8,018人	5,475人	2,543人
平成28年	9,994件	7,021件	2,973件	7,879人	5,464人	2,415人
増減	24件	74件	- 50件	-139人	- 11人	- 128人

- ・救急件数については、宇部市が74件増加、山陽小野田市では50件減少し、全体で24件増加しました。
- ・搬送人員については、宇部市が11人減少、山陽小野田市は128人減少し、全体で139人減少しました。

2 事故種別出場件数・搬送人員

	平成27年			平成28年			増減		
	合計	宇部市	山陽小野田市	合計	宇部市	山陽小野田市	合計	宇部市	山陽小野田市
合計	9,970件	6,947件	3,023件	9,994件	7,021件	2,973件	24件	74件	- 50件
	8,018人	5,475人	2,543人	7,879人	5,464人	2,415人	-139人	- 11人	- 128人
火災	45件	31件	14件	31件	25件	6件	- 14件	- 6件	- 8件
	13人	10人	3人	7人	5人	2人	- 6人	- 5人	- 1人
自然災害	7件	6件	1件	1件	1件	0件	- 6件	- 5件	- 1件
	7人	6人	1人	1人	1人	0人	- 6人	- 5人	- 1人
水難事故	8件	6件	2件	16件	6件	10件	8件	0件	8件
	2人	2人	0人	5人	3人	2人	3人	1人	2人
交通事故	934件	678件	256件	820件	633件	187件	-114件	- 45件	-69件
	720人	524人	196人	645人	488人	157人	-75人	- 36人	- 39人
労働災害	76件	43件	33件	82件	50件	32件	6件	7件	- 1件
	71人	39人	32人	72人	43人	29人	1人	4人	- 3人
運動競技	79件	49件	30件	71件	40件	31件	- 8件	- 9件	1件
	73人	44人	29人	67人	38人	29人	- 6人	- 6人	0人
一般負傷	1,469件	1,039件	430件	1,560件	1,107件	453件	91件	68件	23件
	1,203人	836人	367人	1,233人	862人	371人	30人	26人	4人
加害	49件	30件	19件	49件	39件	10件	0件	9件	- 9件
	30人	18人	12人	28人	25人	3人	- 2人	7人	- 9人
自損行為	117件	77件	40件	107件	78件	29件	- 10件	1件	- 11件
	76人	47人	29人	76人	51人	25人	0人	4人	- 4人
急病	5,949件	4,176件	1,773件	6,017件	4,235件	1,782件	68件	59件	9件
	4,894人	3,372人	1,522人	4,778人	3,350人	1,428人	-116人	- 22人	-94人
転院搬送	923件	574件	349件	967件	599件	368件	44件	25件	19件
	923人	573人	350人	964人	598人	366人	41人	25人	16人
その他	314件	238件	76件	273件	208件	65件	-41件	- 30件	- 11件
	6人	4人	2人	3人	0人	3人	- 3人	- 4人	1人

平成28年の救急出場件数(グラフ)



・事故種別ごとによる出場件数で最も多い「急病」は6,017件で、全体の60.2%を占め、次いで「一般負傷」が1,560件で15.6%、「転院搬送」が967件で9.7%、「交通事故」が820件で8.2%となっており、昨年の交通事故と転院搬送との順位が入れ変わっています。

また、昨年の出場件数から比較すると、主に「火災」、「交通事故」、「その他」が減少しており、「一般負傷」、「急病」が増加しています。

3 今後の課題

・昨年中の救急出場件数は1万件を下回ったものの全体で一昨年より24件増加しています。

また、全国的に高齢者の増加と同居世帯の減少により、救急件数は右肩上がりの傾向を押さえられない状況です。今後、増加傾向にある救急件数に対して、限られた台数の救急車で、いかに効率よく救急対応していくのか、更には「緊急性のある救急」と「そうでない救急」を見分けることが今後の課題です。